

中長期研究計画（案）

試験研究推進のための方策について

令和7年度第2回評議委員会

試験研究推進のための方策

(論点)

- ① 優先的に解決すべき課題の抽出
- ② 多様化・複雑化している課題を解決する手法
- ③ 効果的かつ迅速な成果の普及・社会実装
- ④ 研究力強化に向けた人材育成

論点 ① 優先的に解決すべき課題の抽出

課題

これまで、現場課題の公募等によりニーズを把握し、農林水産技術センターの研究部が課題を整理・抽出した上で、研究テーマを設定していた。

しかし、近年は現場の課題が多様で複雑になっていることから、今後は幅広い視点から課題を捉え、優先的に取り組む課題を的確に抽出し、対応していくことが必要である。

方策

<行政・普及組織との連携による解決すべき課題の抽出>

- 農業・畜産・水産・林業の「分野別課題抽出検討会」を開催し、行政・普及組織とともに、優先的に解決すべき課題を抽出する。(IV1(2))

<試験研究テーマの重点化>

- 「分野別課題抽出検討会」で整理された課題をもとに、評議委員会において、外部委員の専門的知見や多角的な視点に基づく意見を踏まえて、翌年度に取り組む研究テーマの重点化方針を策定する。(IV1(3))

()は、
中長期研究
計画案の該
当箇所

論点② 多様化・複雑化している課題を解決する手法

課題

現場課題が多様化・複雑化しているため、農林水産技術センターだけで解決することが難しくなっている。

このため、大学や企業の専門性や強みを活かし、産学公連携による研究体制を強化する必要がある。また、農業・林業・水産業の各分野だけでなく、それぞれの分野の人材やシーズ(研究資源)を活用して対応することが必要である。

方策

<産学公連携による共同研究の実施>

- 「京都フードテック研究連絡会議」等の研究者のプラットフォームや他部局の関係団体等との横断的な連携により、最新技術や研究ニーズを幅広く収集する。(IV1(1))
- 大学や民間企業などとの共同研究を推進することで、各主体の知見・技術・ネットワークを相互に活用し、研究成果の社会実装を加速するとともに、実践的な人材を育成する。(IV2(1))

<分野横断チームによる課題解決アプローチ>

- 農業・畜産・林業・水産業の職員による「気候変動適応型技術開発」や「スマート技術開発」などのプロジェクトチームを設置し、分野横断的なアプローチにより農林水産業の技術的課題を解決する。(IV 2(3))

()は、
中長期研究
計画案の該
当箇所

論点③ 効果的かつ迅速な成果の普及・社会実装

課題

普及・行政・研究組織による「タスクチーム」で研究成果の普及・実装に取り組んでいるが、試験場で得られた結果が現場で再現されないケースや、現場ですぐに利用できるレベルまで技術が十分に仕上がっていない事例もあり、広く普及していない場合がある。
このため、普及組織や民間企業との連携を一層強化し、現場が求める技術を開発することが必要である。

方策

<普及組織との連携による試験研究の実施>

○研究段階から現地での実証を行うなど、普及組織と連携しながら試験研究を実施する。(IV2(2))

○研究員が自ら生産現場に赴き、普及職員らとともに実証活動を実施し、実証過程で得られた課題や改善点を速やかに研究へ反映させ、現場への適応性に優れた技術の開発につなげる。(IV2(2))

<産学公連携による事業化推進>

○民間企業と試作品の開発や実証を行い、商品化・事業化までのプロセスを効率化・迅速化する。(IV3(2))

()は、
中長期研究
計画案の該
当箇所

論点④ 研究力強化に向けた人材育成

課題

ベテラン職員の退職に伴い、若手職員の割合が増加する中、若手職員の研究者としてのスキル向上は喫緊の課題である。

また、複雑化・多様化する現場課題を解決するための研究開発にあたっては、従来のオンザジョブトレーニング(OJT)を中心とした教育では不十分である。

方策

<段階的・体系的な研修体制の整備>

○研究職員のキャリアや専門性に応じて、必要な知識を学ぶ基礎研修、AI等の専門研修、外部機関への派遣研修を段階的かつ体系的に実施する。(IV4(1))

<課題解決能力を有する研究人材の育成>

○企業や国立研究開発法人のOBなどスペシャリストをアドバイザーとして招聘し、専門的で高度な知識、視野を持つ人材を育成する。(IV4(2))

()は、
中長期研究
計画案の該
当箇所

論点

委員の皆様が所属する組織において、マーケティングや企画、事業化、評価、事業の拡張、人材育成に関して、同じような課題を抱えておられるとと思われます。

その中でうまくいった事例の紹介やアドバイスをいただきたい。

- ① **優先的に解決すべき課題の抽出**
- ② **多様化・複雑化している課題を解決する手法**
- ③ **効果的かつ迅速な成果の普及・社会実装**
- ④ **研究力強化に向けた人材育成**